

福岡コンベンションセンター施設利用ガイドライン

【展示会等利用編】

～感染症拡大リスクを抑え催事の道筋を示すガイドライン～

催事の開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、下記対策を講じていただきますようお願いいたします。

【基本的感染症防止対策】

- 1 人と人との間隔はできるだけ2m空ける（最低1m）
- 2 主催者、関係者及び来場者全員のマスクの準備・着用
- 3 主催者、関係者及び来場者全員の検温・手指消毒の実施
- 4 会場内の換気対策の実施
- 5 発熱や体調不良のある場合の入場制限の実施
- 6 来場者全員の氏名・連絡先等の把握と管理
- 7 施設利用後の会場・使用備品等の消毒作業（主催者負担）

【具体的な対策】

1 入館・受付時の対応

- 主催者、関係者（アルバイトスタッフ含む）は入館時までに検温を行い、体調と併せて状況を把握すること
- 出入口を限定し、入場列の整理(最低1m間隔)や必要に応じた入場規制を行うこと
- 受付には手指の消毒ポンプ等を設置し、感染防止対策を徹底すること
- 会場内の密を避けるため、事前予約制、人数制限等の対策を講じること
- 人と人との対面する場所には、必要に応じ、アクリル板、ビニールカーテン、フェイスシールド等の対策を行うこと
- 名刺等の受け渡しが発生する場合には、トレイなどを準備・使用すること
- 来場者は受付入場前に検温を行い、発熱や体調不良のある場合は入場制限を行うこと

2 開催時の対応

- 開始前・開催中の会場内の備品等の消毒作業は、必要に応じ主催者にて行うこと
- 開催中は出入口の開放、1時間程度に一回の換気等の必要な対策を講ずること
- 開催中は全員マスク着用を必須とし、主催者スタッフによる定期的な巡回を実施すること
- 物販の際は手に取れる見本品の展示は不可とし、販売スタッフと購入者との間にはアクリル板、ビニールカーテン等を設置し、現金の受取の際はトレイを準備・使用するなど、状況に応じ必要な対策を講ずること
- 体験コーナー、サンプリングコーナー等は設置しないこと
- 休憩コーナーを設ける際は、座席の間隔を1m以上確保すること
- 来場者向けのドリンクの提供は缶・ペットボトルのテイクフリー設置は可、ウォーターサーバー等の設置、主催者スタッフによる提供、紙コップ使用は不可とする
- 終了後はロビーの密を回避しつつ、速やかな退場を促すこと

（裏面に続く）

3 その他

- 搬入出時は混雑を回避するため、必要に応じ利用時間調整を行うこと
- 弁当を含むゴミ回収はマスク・手袋を着用して行うこと
- 唾液のついたゴミの処理は別途ビニール袋等に入れてしっかり縛ること
- 利用しないエリア・階層には立ち入らないよう案内を徹底すること

- 感染者発生時の追跡調査に備え、来場者全員の氏名・連絡先を把握しておくこと
- 控室は定員を厳守し出入口は原則開放するとともに定期的に手を触れる場所の消毒を行うこと
- 喫煙所を仮設する際は密にならないよう配慮し、主催者スタッフ配置・巡回等を行うこと
- 感染拡大防止のため、利用後の会場（控室含む）・使用備品の消毒作業は必須とする（主催者負担）
- 感染拡大防止対応について、適宜、当財団スタッフの指示に従うこと

本ガイドラインは、現段階で得られている知見や情報等に基づき作成しています。今後の知見の集積及び各地域の感染状況を踏まえて、逐次見直すことがありますのでご留意をお願いします。

そして、これらをもとに皆様方が安心して参加できる、開催計画を立てられますようお願いします。

2020.6.1更新